
悲しい殺意

あひる亭桃羽

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

悲しい殺意

【Nコード】

N1324G

【作者名】

あひる亭桃羽

【あらすじ】

悲しい殺意を抱き抱かれる。悲しい男の手記。

俺は毎日殺される。

平和なはずのこの国のこの場所は

見方によつては戦場だから。

あなたの言葉は刃のように俺の全身を切り裂くし、

君の視線は麻紐のように俺の頸動脈を締め付ける。

だから俺は毎晩死んでいる。

なのに、また朝が来る。

ソシテ マタ コロサレル . . .

幾度、これを繰り返せばいいのだろう。

何が俺の生きる理由なのだろう。

幸せを探す事、すなわちそれが幸せだと

歌ったシンガーは幸せなのだろうか？

毎日自分を切り売りしてる

あの娘は幸せなのだろうか？

街で倒れる酔っ払いも

高架下で歌うシンガーも

群れて笑う男女も

皆に問いたい。

「アナタハイマ、シアワセデスカ
？」

そんな事をフト考えてしまう。

毎晩、布団の中で恐怖する。

明日は誰に殺されるんだろう。

明日は誰を殺してしまうんだろう。

誰の手で傷を負い

誰の心を傷つけてしまつのだろう。

病んでいる？

知っているさ。

そんなの、今に始まつた事じゃない。

知つた風な口をきく奴等。

黙れ。

俺は俺で俺でしかなく、俺以外の何者でもない。

俺に口出しするな。

ダメダメダメダメダメダメダメダメダメ。

しかし気づいたんだ。

俺は、俺の事を何も知らなかった。

俺は、きっと幸せなのだろう。

それに気づけただけでも、俺は俺を褒める。

赤ん坊は産まれてすぐ、手を開きながら泣くという。

手に握り締めた希望を手放した。

その悲しさで泣くという。

だったら俺は

もう一度この手に希望を握り締めてやる。

落ち込むのにはもう疲れた。

そこがどんなに暗い明かりのない道でも

いい加減に目は慣れただろう？

もう一度、スタートラインへ。

人生で何度目か、数えるのもめんどくさいくらいの回数のスタートラインへ。

俺はもう一度、立つ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1324g/>

悲しい殺意

2011年1月16日05時37分発行